

伝統を喪失することは容易い。しかし、それを守ることはとても困難である。

「折形」の技術は目に見える。しかし、精神性は目に見えない。よって欠如しやすくなる。実際「折形」も過去、その危機に見舞われた。しかし、両者は不二の関係なのだ。どちらかが



真剣な顔で折形に挑戦中

欠けても真の価値は無い。現代の社会で、精神性をどう維持していくか。それは「折形」に限らず、日本の伝統文化全般の課題だ。我々は安易にグローバルイズムの波に乗せられている一方で、埋没していく日本文化がある。真の国際化とは民族と民族が互いの文化を尊重し合い、理解し合うものではないか。「礼の心」。これこそが日本の伝統文化に内在する伝えるべきものであり、誇りになりたい。せめてお正月くらいは、折形を通し礼の心を見直してみたい。

遮那宥誠(神郡地区)

### 蘇れ！白滝古道

―復活に向けて挑む・第2回―

頭にヘルメット、手にはチェーンソー、足には地下足袋や長靴を着用した勇ましい姿の男性、のこぎりや鎌を手にした女性など、およそ60名が六所児童館に集合しました。11月17日(土)の小春日和に包まれた初冬の日のことです。

お集りの方々は、昔の里山をとりもどすために、古道を修復し、復活させようという、「すそみの森づくりワークショップ」に参加した人たちです。NTTの東関東支部、環境ボランティアの方々が30名と、地元田井地区の方々、地区以外からの応

援団、そしてつくば環境フォーラムのメンバーです。前回(9月29日)に引き続き、今回も白滝へ通じる登山道の整備が行われました。ブーン、ブーン。六所神社跡から白滝へ登る山間に、力強いチェーンソーの音が響きます。作業は三つの班に分かれて行われました。道をふさいでいる常緑樹の低木を切るチーム、生い茂った竹藪を整備するチーム、松枯れで倒木しているものを処理するチームです。周辺に目を配りながら真剣に作業を進めていきます。2時間ほどすると、



チェーンソーも大活躍

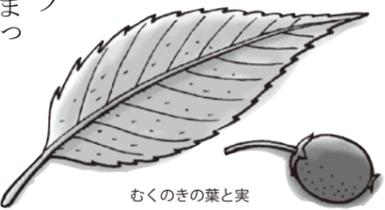
多くの方々に参加していただきました。

上野節子(小沢地区)

## すそみ・わたしのお気に入り①

さとの実(棕の木)

神郡方面から、臼井地区に入り、「栄屋」雑貨店の向いの石垣の間(鮭川隆雄氏宅)に立つ、樹齢300年以上と推測される老木がある。幹の大部分は、空洞状態だが、強風に倒れることもなく、春には新緑が生い茂り、夏には「栄屋」に日陰をつくり、秋になると黄色に色づき、葉が落ちるころには実が黒く熟す。栄屋の当主である菊地利雄さんは、毎日店を開けると目に入るのがこの樹をであると言う。最近、幹の1/3くらいの皮が付いている状態で、樹の上部の沢山のコブが大きくなってしまつたので、あと何年の寿命か?と心配していると話す言葉は寂しげであった。



むくのきの葉と実

熟した実は非常に甘く、子どものころは我が家にも大きな木が表と裏にあつてよく食べた記憶がある。この甘さから、この辺では「さと(砂糖が訛つた?)の実」と称するが、本名「棕の木」である。そして、棕鳥の好



樹の前に立つ菊地さん

物。また、老木には洞穴がいたるところに出来るので、フクロウやキツツキなど鳥類が多数飛来し、黄金虫などの昆虫も数多く集まつた。この樹は柔軟性と堅重な材質で、石などを叩く大きなハンマーの柄や酒や醤油を搾る道具、繊維機の材に用いられた。葉っぱは表面がザラザラで堅いので、ベツ甲を磨くなど用途が多様なため、たいがい家に植えられていた。最近ほとんど見られなくなったが、六所地区の木村武男氏宅の裏庭には、樹高20メートル以上にも達する大樹がある。

森田源美(六所地区)

●「田井の水溜め」の情報を募集! かつて蚕影山の北側の田んぼで、冬に氷を作る「水溜め」があつたと聞きました。田んぼの水溜めをこ存じの方、作る場所を提供いただける方、いっしょに作りたい方など大募集です。目標は、夏に食べるかき氷?いかがでしょう。問い合わせ先すそみろく発行事務局

### 新しい祭の形

#### 第2回「田井の里の秋祭り」

11月23日24日、田井の里で新旧の文化が融合した祭が行われました。10カ所の「お祭スポット」での催し。子ども達は木の枝で作った鉛筆型のブローチに喜び、民家の縁側では甘酒を飲みながら、地元の和太鼓や中近東の楽器「ウード」の音色に耳を傾け、小春日和に穏やかな幸せを感じました。田井の谷津田米のおにぎりや地元野菜の品々、古写真展で亡き祖父の姿を見つけ感動する人。「百灯の瓦プロムナード」瓦のあかりへの変身が見事、田井小児童の自由で力強い作品は驚きです。昔の文化が残るこの里だからこそ出来る祭であり、回を重ねる毎に伝統と新しさの結びつきが驚きを持たしてくるでしょう。

石井博子(神郡地区)



大好評だったかまど炊きのおにぎり



公開された庭ではつと二息

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

医療法人社団 桜水会  
介護老人保健施設  
**豊浦**

〒300-4212  
茨城県つくば市神郡 2013-1  
TEL029-850-7111  
FAX029-850-7100

## インフォメーション

- 普門寺 除夜の鐘つき  
12月31日23時から整理券配布 23時15分に順番のくじびき(当たり券あり) 23時45分から撞き始め
- 大御堂  
世界平和を祈念して皆様も鐘をついてください。  
12月31日22時から除夜の鐘  
1月1日10時16時 新春の鐘打ち  
1月18日 初観音(縁日)ご来寺になって世界平和を祈念しましょう
- 筑波山神社  
初参りの皆様に甘酒のサービスがあります。  
1月1〜4日 明るくなってから昼頃まで(その日の予定がなくなり次第終了します)
- 筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり  
1月19日(土) スギ林の手入れ作業  
2月10日(日) 竹林の手入れ作業  
2月23日(土) 植樹祭  
3月8日(土) 間伐材でガーデングッズづくり  
10〜15時/参加費900円(昼食つき) つくば駅からバスの送迎あり/大人向け実践班、親子向け体験班があります。  
「問・申込」つくば環境フォーラム  
029-8663-1515
- 筑波山麓自然学校 炭焼き講座  
2月2日(土)〜3日(日) / 大人のみ  
参加費9000円(1泊4食、夜の交流会含む) / ドラム缶窯で竹炭・飾り炭づくり、燻製・ピザ焼きなども。  
「問・申込」筑波ふれあいの里  
029-866-11519